

肝臓病 で現れやすい
症状について、お困りのことや
お聞きになりたいことがあれば
主治医にご相談ください。

肝臓病^{で現れやすい} 症状とその原因

監修：藤田医科大学病院 薬剤部 部長
山田 成樹 先生

肝臓病で治療を
受けている方へ

肝臓病で治療を受けている方へ

肝臓病は治療や検査を繰り返し、長く付きあう必要がある病気のひとつです。肝臓病の患者さんには、肝臓の状態に応じて全身や皮膚などにさまざまな症状が現れることがあります。肝臓病の進行のほか、お薬の副作用が原因で症状が現れる場合もあります。患者さんのなかには、肝臓病に伴う症状と気づかずに悩まれる方も少なくありません。

この冊子では、肝臓病で現れやすい症状を、写真やイラスト、患者さんが感じ・発する言葉で示し、その症状の主な原因や特徴を解説しています。この冊子の言葉や特徴などが必ずしも実際の病状と一致するとは限りませんが、ご自身の症状を理解することが長く治療を続けることにつながります。

治療中に現れるさまざまな症状に関して、お困りのことやお聞きになりたいことがあれば、遠慮せずに主治医や看護師・薬剤師などの医療スタッフにご相談ください。

藤田医科大学病院 薬剤部 部長 山田 成樹



医療関係者用



全身症状

- だるい、元気が出ない
- 眠れない、昼間眠い
- 熱っぽい、風邪っぽい
- 貧血ぎみ
- 体重が減った



皮膚症状

- かゆい
- 皮膚や白目が黄色い
- 手のひらが赤い、熱っぽい
- 蜘蛛の足や糸くずのような赤みや腫れがある
- お腹の辺りに血管が浮き出る



消化器症状

- 吐き気がする
- お腹が張る、ふくらんでいる
- 便秘ぎみ、下痢ぎみ
- 食欲がわからない



四肢の症状

- 足がつる、こむら返りが起こる
- 足がむくむ、膝下がふくらんでいる
- 指や手が震える



疼痛(痛み)

- お腹が張る、痛い
- 右の脇腹が痛い
- みぞおちが痛い
- 肩がこる、肩に痛みが走る



その他の症状

- 息苦しい、胸が苦しい
- すぐにアザができる、出血しやすい
- 胸が大きくなった
- 息がにおう
- 喉が渇く、口が渇く
- 尿の色が濃い、茶色っぽい
- 便の色が薄い、白っぽい
- 尿の量が減った

これらの症状が現れたら、主治医や医療スタッフにご相談ください。

全身症状

皮膚症状

消化器症状

四肢の症状

疼痛(痛み)

その他の症状



肝臓病で現れやすい全身症状

だるい、元気が出ない(倦怠感)^{けんたいかん}



眠れない、昼間眠い(不眠/昼夜逆転)



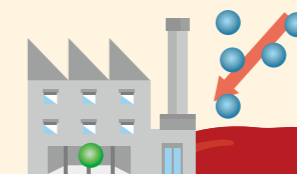
全身症状の主な原因

医療関係者用

肝臓病になると、体の活動や維持に必要なエネルギーを作り出せなくなるほか、有害物質を蓄積しやすくなるため、脱力感や疲労感を覚えます。

肝臓には、主に3つの機能があります。

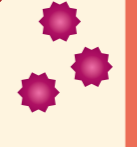
① さまざまなエネルギーを分解・合成・貯蔵する代謝



③ 食物の消化を助ける胆汁の生成



② 有害物質の解毒



エネルギー源：糖やタンパク質、脂質、ビタミンなど。有害物質：アンモニアやアルコールなど。胆汁：脂肪を溶けやすくする消化液。

有害物質が肝臓で解毒されず脳に達することで、睡眠と覚醒のリズムが逆転することがあります。また、肝臓病に伴い生じる「かゆみ」が原因で、眠れなくなることもあります。

かゆみ：皮膚症状 参照



肝臓病で現れやすい全身症状

熱っぽい、風邪っぽい かんぼうようしょうじょう (感冒様症状 / 免疫力低下)

熱が下がらない

頭が痛い



貧血ぎみ(貧血 / 血圧低下)

立ちくらみする
ことがある

フラフラして
歩けない

体重が減った(体重減少)

やせた、
服がゆるく
なった



ズボンが
ブカブカに
なった

医療関係者用

全身症状の主な原因

肝臓に急激な炎症などが起こると、発熱や頭痛、関節痛など風邪(感冒)に似た症状が現れます。

肝臓病による貧血 / 血圧低下は、肝臓の影響を受けた脾臓が赤血球を過剰に壊すことが、原因のひとつと考えられています。

もっと詳しく知りたい方へ

肝臓病に伴うさまざまな障害により、門脈(腸で吸収した栄養素を肝臓に運んでくる血管)の血圧が上昇し、肝臓に入るはずの大量の血液が脾臓に流れ込むことがあります。脾臓には赤血球(酸素を運搬する血液中の成分)を破壊する機能がありますが、血液の流入で腫れて大きくなった脾臓によって、赤血球の破壊がより進むため、貧血 / 血圧低下が生じます。

肝臓病に伴い生じる「食欲不振」が原因で、体重が減ることがあります。

また、肝臓で十分なエネルギーを作り出すことができなくなり、筋肉がエネルギー源として使われることで、筋肉量が減少するおそれもあります。

✓ 食欲不振：消化器症状 参照



肝臓病で現れやすい皮膚症状

かゆい(掻痒感)^{そうようかん}

かゆみが治まらない



かゆみどめが効かない

皮膚や白目が黄色い(黄疸)^{おうだん}



出典：iMedicine「肝・胆・膵」、リプロ・サイエンス

白目が黄色っぽい

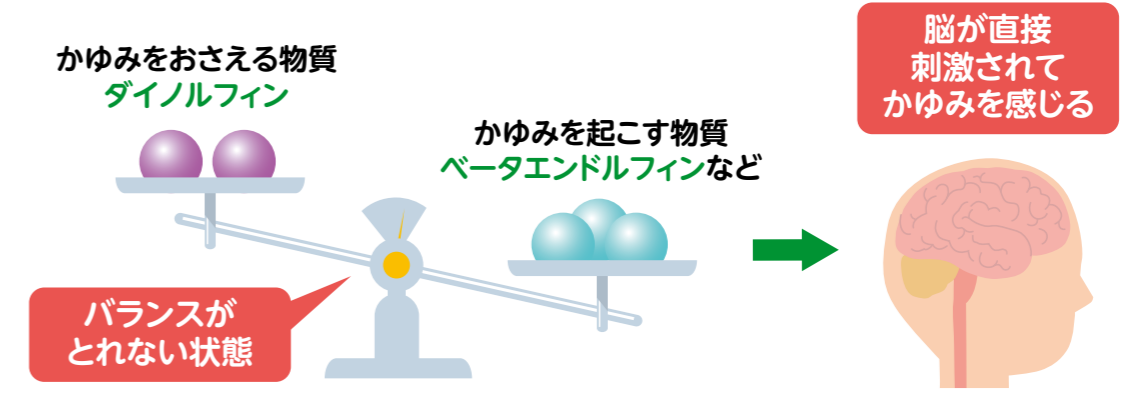
いつもより顔が黄色い

黄疸患者さんの手(左)と健康な人の手(右)

医療関係者用

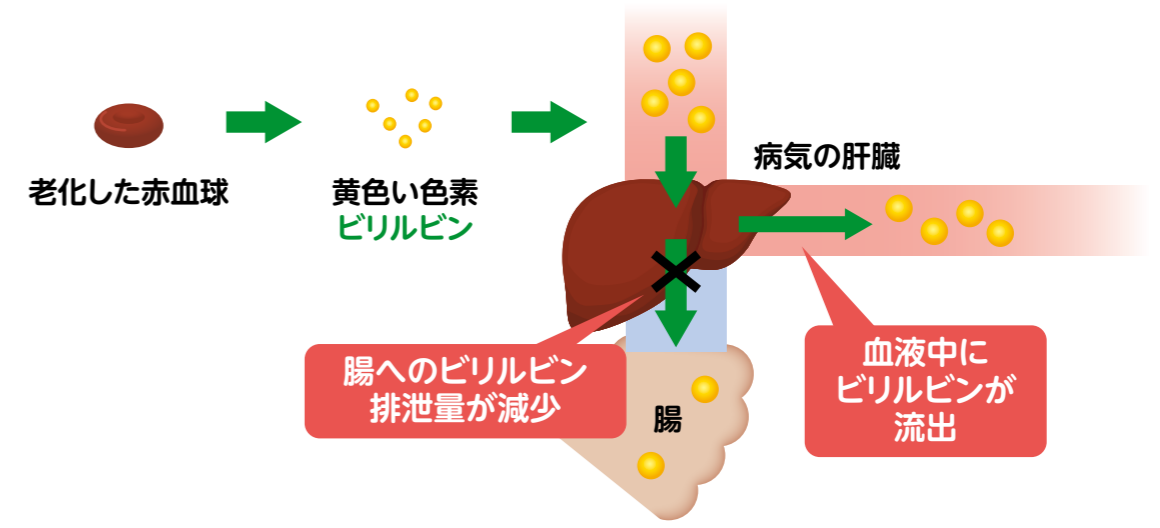
皮膚症状の主な原因

肝臓病によるかゆみは、かゆみを起こす物質とかゆみをおさえる物質のバランスがとれなくなることが、原因のひとつと考えられています。



もっと詳しく知りたい方へ
肝臓病になると、かゆみを制御する体内物質のバランス異常が生じるおそれがあります。かゆみをおさえるダイノルフィンよりもかゆみを起こすベータエンドルフィンなどが活性化すると、かゆみが引き起こされます。このかゆみは脳が体内物質に直接刺激されて感じるかゆみのため、皮膚の異常を原因とするかゆみと異なり、「見た目にも異常がなくてもかゆい」、「かいてもかゆみが治まらない」、「お薬が効きにくい」という特徴があります。

肝臓病になると、便に排泄されるはずの黄色い色素が血液中に流れることで皮膚や白目が黄色くなります。



もっと詳しく知りたい方へ
老化した赤血球から生じるビリルビン(黄色い色素)は、肝臓に運ばれたあと、胆汁(脂肪を溶けやすくする消化液)として腸に排泄され、大部分が便として体外に排出されます。肝臓病になると、胆汁の腸への排泄量の減少などにより、血液中のビリルビン濃度が上昇した結果、皮膚や白目が黄色く染まった状態になります。

全身症状

皮膚症状

消化器症状

四肢の症状

疼痛(痛み)

その他の症状



肝臓病で現れやすい皮膚症状

手のひらが赤い、熱っぽい(手掌紅斑)^{しゅしょうこうはん}



手のひらが赤みを帯びている

出典：第98回医師国家試験[F問題]、厚生労働省

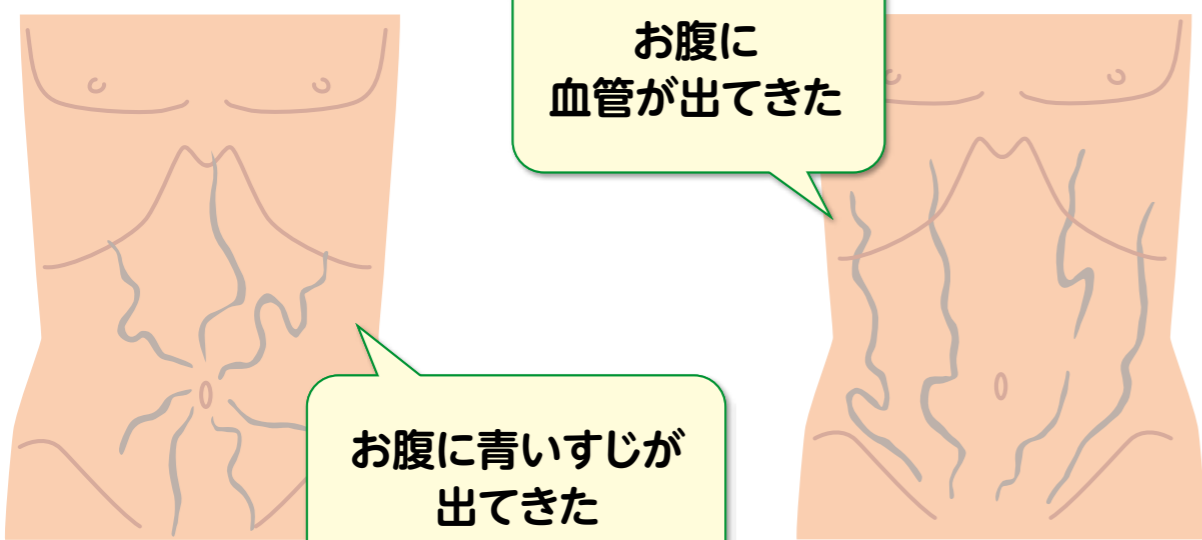
蜘蛛の足や糸くずのような赤みや腫れがある(クモ状血管拡張)^{くも}



胸と首に赤い点々がある

出典：第100回医師国家試験[I問題]、厚生労働省

お腹の辺りに血管が浮き出る(腹壁静脈の怒張)^{ふくへきじょうみやく どちょう}



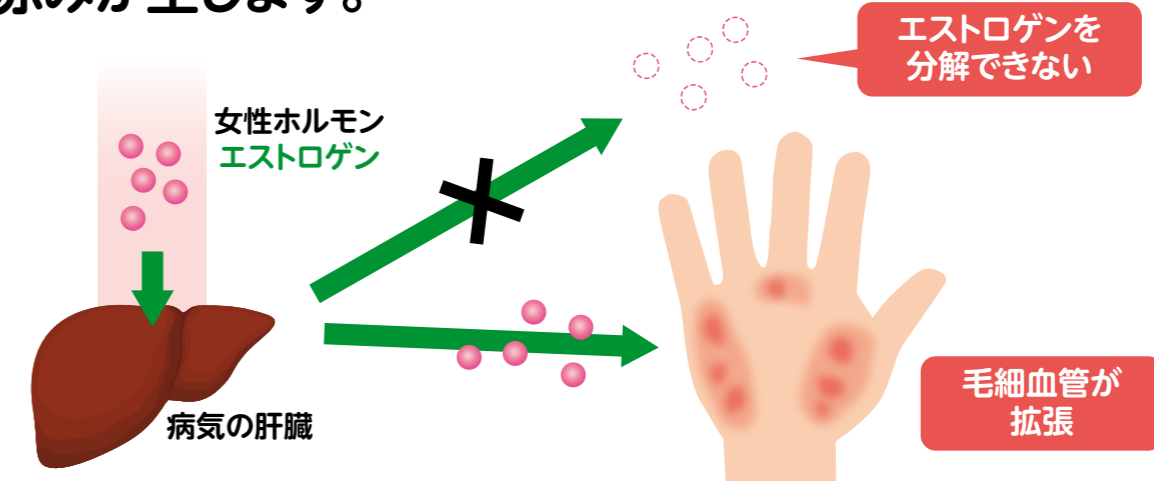
お腹に血管が出てきた

お腹に青いすじが出てきた

医療関係者用

皮膚症状の主な原因

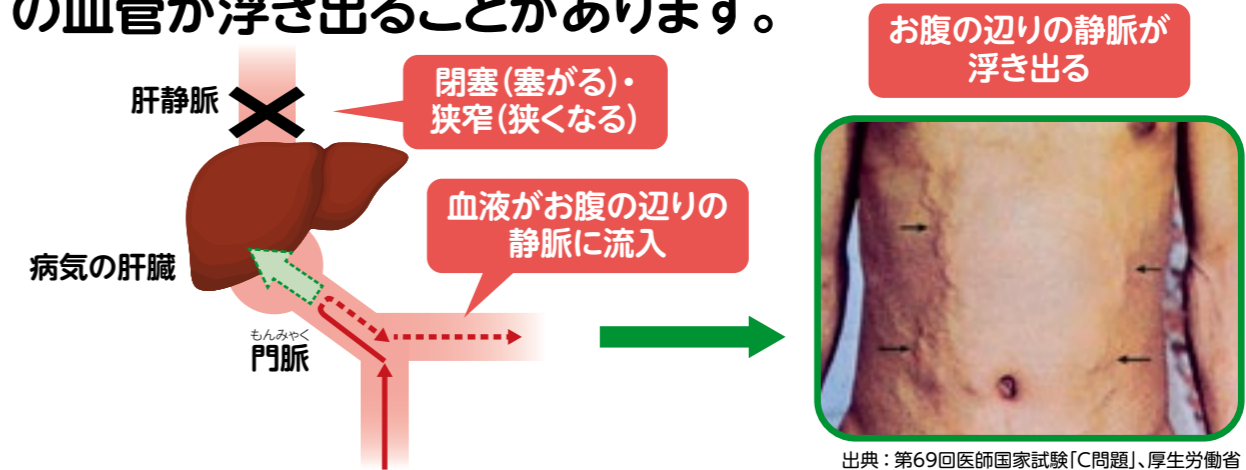
肝臓病になると、毛細血管を拡張する機能がある女性ホルモンを分解できなくなるため、手のひらや上半身に赤みが生じます。



もっと詳しく知りたい方へ

女性ホルモンであるエストロゲンには、血管を拡張する機能があります。通常、エストロゲンは肝臓で分解されて胆汁や尿に排泄されますが、肝臓病になるとエストロゲンの分解を十分に行えないため、血液中のエストロゲンが過剰になり毛細血管が拡張され、手掌紅斑やクモ状血管拡張となって現れます。

肝臓病になり、肝静脈などに異常が起こると、肝臓に入るはずの血液がほかの血管に流れ込み、お腹の辺りの血管が浮き出ることがあります。



出典：第69回医師国家試験[C問題]、厚生労働省

もっと詳しく知りたい方へ

肝臓病に伴うさまざまな障害により、門脈(肝臓内の毛細血管)や、肝静脈(肝臓から二酸化炭素や老廃物を送り出す血管)が塞がったり狭くなったりするなどの異常が起こることで、門脈(腸で吸収した栄養素を肝臓に運んでくる血管)の血圧が上昇します。門脈に入ることができなかった血液は腹部の静脈に大量に流れ込んで、血管が隆起した状態になります。

全身症状

皮膚症状

消化器症状

四肢の症状

疼痛(痛み)

その他の症状



肝臓病で現れやすい消化器症状

吐き気がする(嘔気嘔吐)

ムカムカする

吐いてしまう

お腹が張る、ふくらんでいる(腹水/腹部膨満感)

太ってきた

前かがみができない

肝臓病では、便秘や下痢などの便通異常が現れることもあります。「腹水」も腸を圧迫して腸の機能を低下させるなど、便通異常の原因のひとつと考えられています。



便がゆるくなった

数日間便が出ない

食欲がわかない(食欲不振)

食べたくない

食べられない

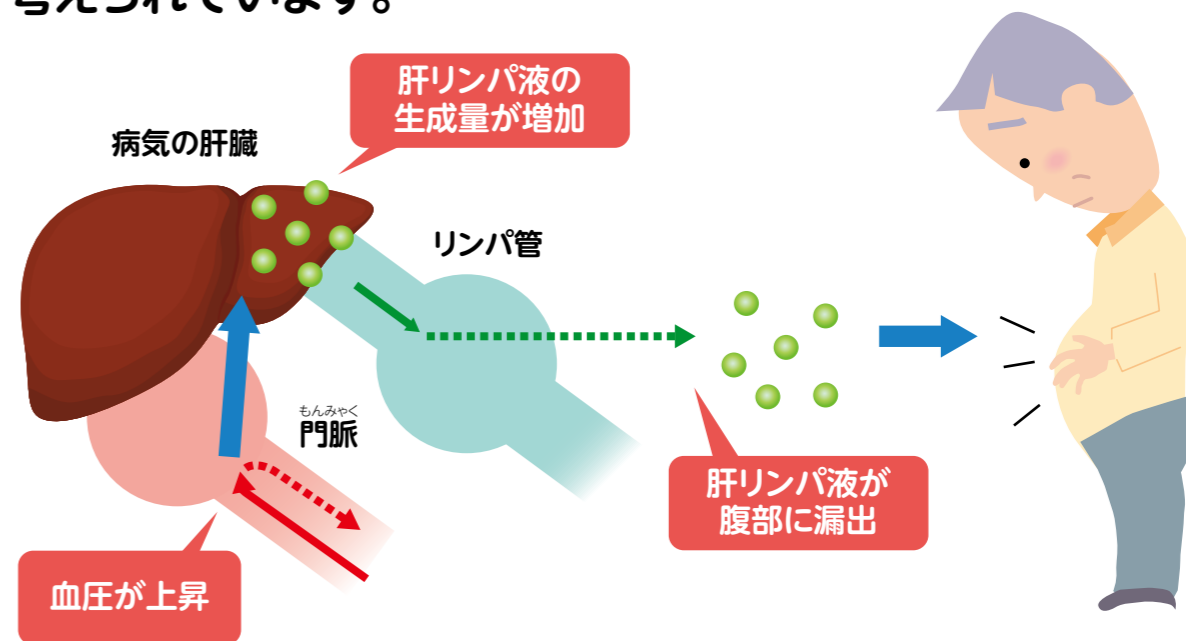


医療関係者用

消化器症状の主な原因

肝臓に急激な炎症などが起こると、その異常が刺激となって吐き気や不快感、実際に吐いてしまうといった症状が現れます。

肝臓病による腹水/腹部膨満感は、リンパ管に入るはずのリンパ液がお腹に漏れ出てしまうことが、原因のひとつと考えられています。



もっと詳しく知りたい方へ
肝臓病に伴うさまざまな障害により、門脈(腸で吸収した栄養素を肝臓に運んでくる血管)の血圧が上昇すると、肝リンパ液の生成量が増加することがあります。リンパ管に入ることができなかった肝リンパ液は腹部に大量に漏れ出して、お腹が張ったりふくらんだ状態になります。また、腹水が横隔膜の小孔を通過して胸部に移ると、胸水となりますが、腹水や胸水が現れると、胸の違和感や息苦しさを覚えることがあります。

肝臓病になると、肝臓の炎症のほか、肝臓の異常な腫れや「腹水」による胃の圧迫などで、食欲がわかなくなることがあります。

腹水: 消化器症状(上記) 参照

全身症状

皮膚症状

消化器症状

四肢の症状

疼痛(痛み)

その他の症状



肝臓病で現れやすい四肢の症状

足がつる、こむら返りが起こる

きんけいれん
(筋痙攣)

たまに足がつる

長時間歩けない



足がむくむ、膝下がふくらんでいる(下腿浮腫)

かたいふしゅ

足が太くなった

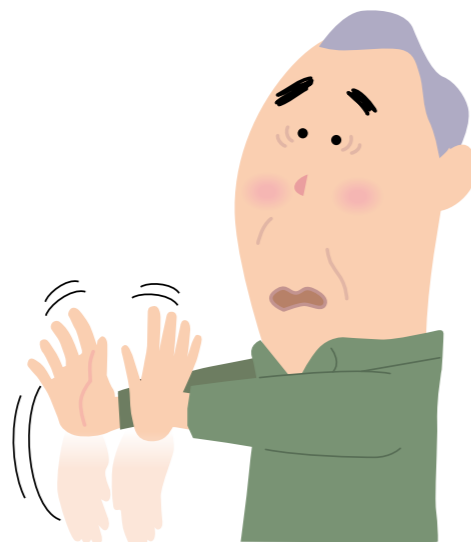


靴がきつくなった

指や手が震える(振戦)

しんせん

指先が震えてしまう



文字が書けない

四肢の症状の主な原因

医療関係者用

肝臓病による筋痙攣は、エネルギーの燃料である脂肪を運ぶ物質が不足して、筋肉で十分なエネルギーを作り出せなくなることが、原因のひとつと考えられています。

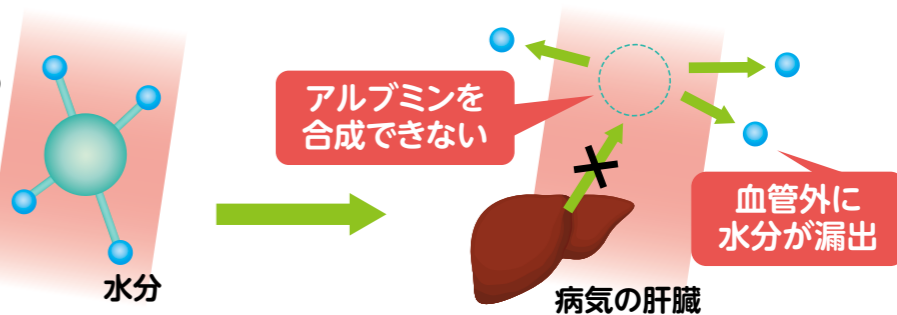
もっと詳しく知りたい方へ

カルニチンは、脂肪を燃焼してエネルギーを作り出すために、脂肪を運搬する体内物質です。カルニチンは食物から摂取できるほか、肝臓や腎臓でも作られています。

肝臓病になってカルニチンが不足すると、筋肉が低エネルギー状態になるため、こむら返りや筋肉痛、筋力低下などが現れやすくなります。

肝臓病になり、水分を血管内に保つタンパク質を作れなくなると、漏れ出した水分によって足がむくみます。

水分を血管内に保つタンパク質アルブミン

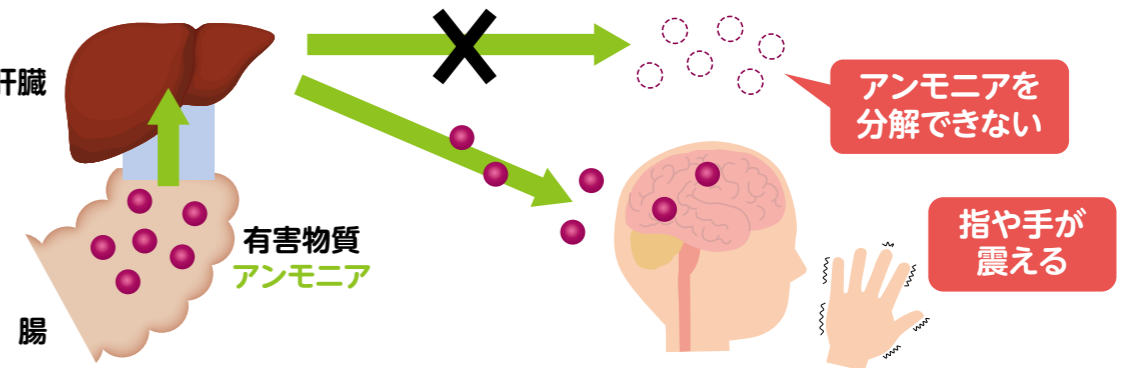


もっと詳しく知りたい方へ

肝臓では、アルブミン(水分を血管内に保つタンパク質)が合成されていますが、肝臓病によりアルブミンの合成機能が低下すると、血液中のアルブミン濃度が下がり、水分が血管外に漏れ出てしまいます。漏れ出した水分は重力の影響などを受けて、足にたまり、むくんだ状態となります。

肝臓病になると、有害物質が肝臓で解毒されず脳に達してしまうため、指先や手に震えが生じることがあります。

病気の肝臓



もっと詳しく知りたい方へ

肝臓の解毒機能が弱まることにより、腸で作られたアンモニアなどの有害物質が脳に到達すると、指先や手が震えることがあります。

全身症状

皮膚症状

消化器症状

四肢の症状

疼痛(痛み)

その他の症状



肝臓病で現れやすい疼痛(痛み)

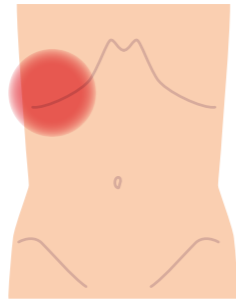
お腹が張る、痛い[腹痛(腹水)]



お腹が張って痛い

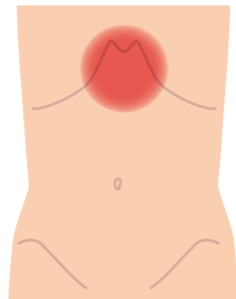
お腹が張って動けない

右の脇腹が痛い(右季肋部痛)



お腹の右側が痛くて前かがみになってしまう

みぞおちが痛い(心窩部痛)



みぞおち辺りが痛くて何もできない

肩がこる、肩に痛みが走る(放散痛)

右肩が痛い



肩をもんでもよくなる

疼痛(痛み)の主な原因

医療関係者用

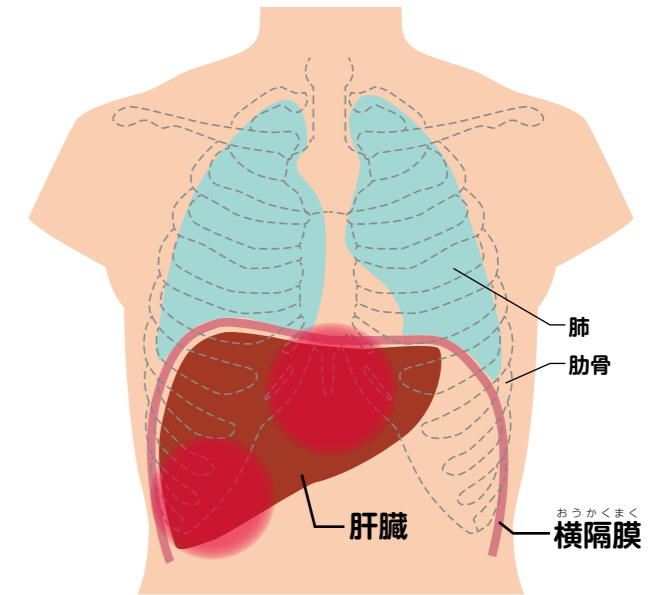
肝臓病に伴い生じる「腹水」が原因で、お腹が張る、痛いといった症状が現れることがあります。

✓ 腹水：消化器症状 参照

肝臓の進展が原因で、強い腹痛が現れることもあります。肝臓が大きくなり破裂すると、大量出血とともに突発的な激痛が生じるため、異常にお腹が痛くなります。

急にもものすごくお腹が痛くなった

肝臓は横隔膜の下、腹部の右上に位置しているため、肝臓に炎症や異常な腫れなどが生じると、肋骨の下辺りの右脇腹やみぞおちが痛むことがあります。



肝臓病になると、肝臓に接している横隔膜が刺激され、その近くにある肩の痛みを感じる神経も刺激されることで、肩の筋肉の痛みと脳が錯覚するため、特に右肩がこる、痛いといった症状が現れることがあります。



肝臓病で現れやすいその他の症状

息苦しい、胸が苦しい
(呼吸困難 / 頻呼吸)



息苦しくて
動けない

動くと
息があがる

すぐにアザができる、出血しやすい(出血傾向)



アザが
できやすい

よく
鼻血が出る

胸が大きくなった(女性化乳房)



出典：第61回医師国家試験「C問題」、厚生労働省

胸が痛い

胸が張る

医療関係者用

その他の症状の主な原因

肝臓病になると、「腹水」による肺の圧迫や肺のガス交換が上手くいかないことで、息苦しさを感ずることがあります。

もっと詳しく知りたい方へ

肝臓病が進行すると、ガス交換(酸素と二酸化炭素の交換)を十分に行うことができず、血液中の酸素が不足する、二次的な肺の機能障害が起こることがあります。これを肝肺症候群といいます。また、アルコールの摂取や喫煙は肺の機能低下をもたらします。

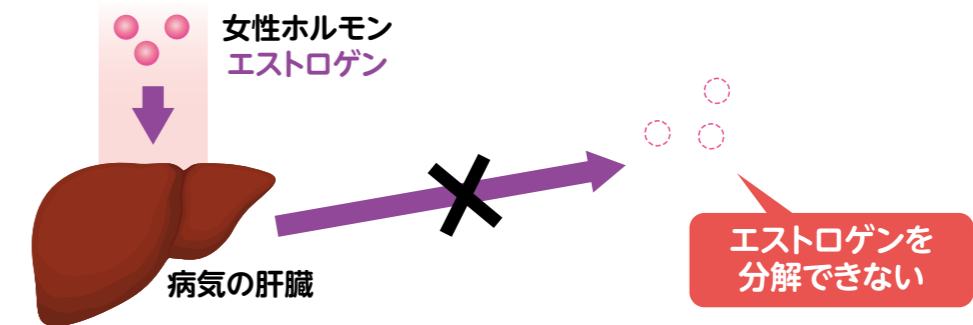
腹水：消化器症状 参照

肝臓病によるアザや出血傾向は、血液を固める機能の低下が原因のひとつと考えられています。

もっと詳しく知りたい方へ

肝臓では、血小板(傷口を塞ぐ血液中の成分)を作り出すトロンボエチンという造血因子や、フィブリノゲンなどの凝固因子(血液を固めるタンパク質)が合成されているため、肝臓病になると血が止まりにくくなったり、軽くぶつけただけで出血しやすくなります。

肝臓病になると、女性ホルモンを分解できなくなるため、男性でも胸が張ったり大きくなったりします。



もっと詳しく知りたい方へ

女性ホルモンであるエストロゲンは肝臓で分解されて、胆汁や尿に排泄されます。肝臓病になるとエストロゲンの分解を十分に行えず、血液中のエストロゲンが過剰になることで乳腺組織が肥大し、乳房が大きくなります。

全身症状

皮膚症状

消化器症状

四肢の症状

疼痛(痛み)

その他の症状



肝臓病で現れやすいその他の症状

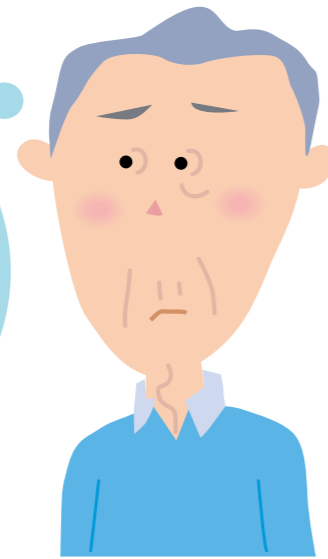
息がにおう(肝性口臭) かんせいこうしゅう

息が
変わってきた

息が
くさくなった



喉が渇く、口が渇く(喉の渇き、口渇) のど のど こうかつ



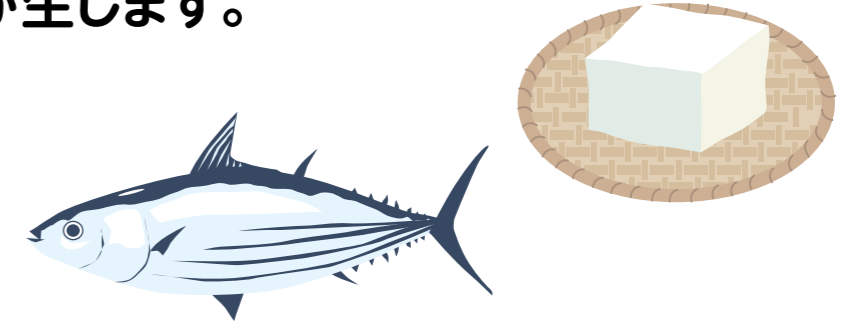
いつも
喉が渇く

すぐに水を
飲みたくなる

医療関係者用

その他の症状の主な原因

肝臓病になると、魚類や大豆食品などに含まれる成分の一部を分解できなくなるため、口臭が生じます。



もっと詳しく知りたい方へ

魚類や大豆食品などに含まれるメチオニンは必須アミノ酸のひとつですが、腸で代謝されてメチルメルカプタンという悪臭を放つ物質になります。健康な肝臓はメチルメルカプタンを分解することができますが、肝臓病になるとメチルメルカプタンを分解することができなくなります。

「腹水」を伴う肝臓病では、利尿薬や飲水制限が原因で、喉や口中の渇きを感じる場合があります。また、肝臓病によりアルブミン(水分を血管内に保つタンパク質)を作れなくなることも、喉や口中の渇きの原因のひとつと考えられています。



腹水：消化器症状 参照

全身症状

皮膚症状

消化器症状

四肢の症状

疼痛(痛み)

その他の症状

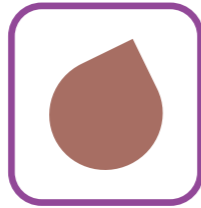


肝臓病で現れやすいその他の症状

尿の色が濃い、茶色っぽい(褐色尿) かつしよくによ



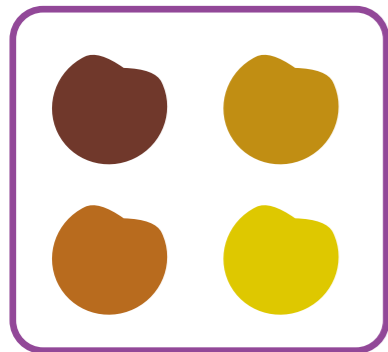
健康な人の尿



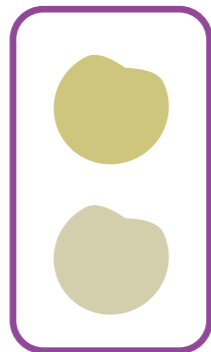
かつしよくによ
褐色尿

尿の色が濃くなってきた

便の色が薄い、白っぽい(灰白色便) かいほくしよくべん



健康な人の便



かいほくしよくべん
灰白色便

便の色が薄くなってきた

尿の量が減った(尿量減少、乏尿) ぼうによ

尿の勢いが弱い

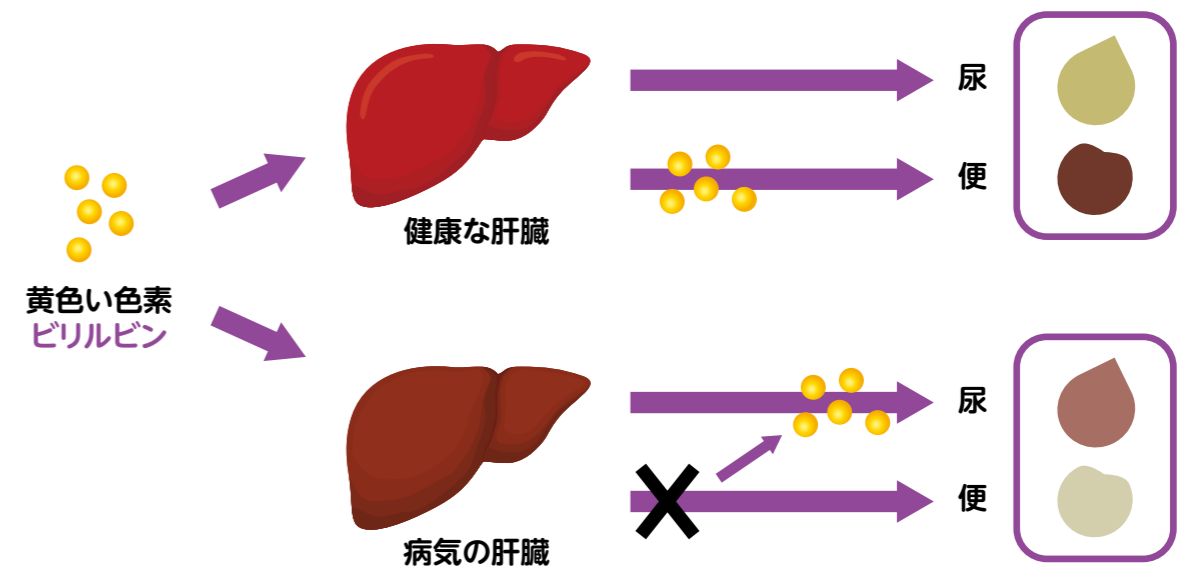


尿が出ない

医療関係者用

その他の症状の主な原因

肝臓病による褐色尿や灰白色便は、黄色い色素が便ではなく尿に排泄されることで生じます。



もっと詳しく知りたい方へ

老化した赤血球から生じるビリルビン(黄色い色素)は、肝臓に運ばれたあと、胆汁(脂肪を溶けやすくする消化液)として腸に排泄され、大部分が便として体外に排出されます。肝臓病になると、胆汁の腸への排泄量の減少などにより、血液中のビリルビン濃度が上昇した結果、尿への排泄量が増え、茶色っぽい尿となって現れます。一方、胆汁の色素の主成分はビリルビンであるため、排出される便の色は薄くなったり白っぽい状態になります。

肝臓病になると、腎臓の機能が低下し、尿の量が減ることがあります。

もっと詳しく知りたい方へ

肝不全などの重篤な肝臓病は、二次的に腎不全を引き起こすことがあります。これを肝腎症候群といいます。肝腎症候群では腎臓の血液量の低下などにより、尿量が減少します。